

グループホーム大社 運営推進会議 報告書

(令和 6年度 第1回)

施設名： グループホーム大社

施設種類： グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日 時： 令和6年5月27日（月） 10時00分～11時00分

会 場： グループホーム大社

出席者：

(人数)

利用者代表	1人	有識者	0人
利用者家族	0人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
		その他ホーム職員	1人

1. 入居状況報告

入居者数 17名（男性 5名 女性 12名）

※待機者数 2名（令和 6年 4月 30日現在）

縁 ユニット	性別	年齢	要介護度	入居日	備考
1	女性	89	4	H29.7.26	センサー 3/25退所
2	女性	86	3	R5.7.3	センサー
3	女性	94	2	H31.4.13	押し車
4	女性	90	4	R4.9.11	車椅子 センサー
5	女性	86	2	R5.11.14	歩行器
6	男性	90	3	R5.5.23	センサー
7	女性	75	3	H28.12.25	
8	女性	85	3	R2.6.8	センサー
9	女性	92	1	R3.6.30	
平均		87.4	2.8		

結 ユニット	性別	年齢	要介護度	入居日	備考		
1	女性	76	3	R5.7.18		センサー	
2	女性	93	2	R5.9.17			
3	男性	87	3	H30.1.23		センサー	
4	女性	94	4	R1.10.8	歩行器	センサー	
5	男性	87	2	R5.1.26		センサー	
6	女性	93	3	R5.11.30	歩行器	センサー	
7	女性	94	2	R5.10.25			
8	男性	73	3	R6.1.29		センサー	
9	男性	82	2	R5.8.28	杖	センサー	
平均		86.6	2.7				

両ユニット平均	平均年齢 87.0 歳	平均介護度 2.7	70～79歳 3名	80～89歳 6名	90～99歳 8名
---------	-------------	-----------	--------------	--------------	--------------

※退所者は、年齢や介護度含めていません。

介護1	1名	介護3	8名	介護5	0名
介護2	6名	介護4	2名		

2. 行事活動報告

令和6年3月～4月 ※移動パン屋一月2回来訪されています。

3月4日	ひな祭り会 ㊦タイヘイ業者のひな祭りメニューです㊦
4月16日	手作り料理 (牡丹餅、豚汁、ほうれん草としめじのお浸し、バナナ)
4月16日	3月～4月誕生日会 ♡ご利用者様 5 名 の誕生日をお祝いいたしました♡
4月23日	♪ハーモニカ演奏会♪ 5名のボランティア様が来訪して頂き、演奏会を開いて下さいました～♪

3. 会議、研修報告

令和6年3月～4月

3月15日	結ユニットカンファレンス
3月25日	3月 職員会議 ○内部研修『接遇マナー』 介護職が身につけておきたい接遇 適切な身だしなみ、言葉遣い、表情等信頼関係を作る。安心して身体を預けて頂く、安心して生活を委ねて頂けるスタッフ同士の信頼関係構築も重要性 等 日々の挨拶や言葉遣い、態度、表情の重要性を改めて認識し、毎日、笑顔で落ち着いた態度で接する様に努めていきたい。また、忙しい時でも利用者様の生活の場である事を意識してバタバタしないように行きたいと思いました。
4月2日	縁ユニットカンファレンス (3月)
4月27日	結ユニットカンファレンス
4月28日	縁ユニットカンファレンス

4. ヒヤリハット、事故報告

令和6年3月～4月

ヒヤリハット報告書：10件

※紫色が付いている部分は、両ユニット1名ずつ（19：00～8：30）での出来事となります。

日勤 8：30～17：30 遅番 10：00～19：00 夜勤 17：00～9：00

日付	時間	内容
3月3日	9:45	①利用者：介護度3 女性 A2 IIIb ②内容：自席にて、傾眠状態が続いており、ゴンと音が響き、確認するとテーブルにおでこをぶつけた様子。体を起こす際に「痛いわ」と言われるも直ぐにテーブルに伏せて眠られる。もともとテーブルに伏せて休まれる方であったが本日は座った姿勢で眠っており、前に行き良い良くテーブルにぶつけられた様子。 ③再発防止策：朝から午前中に掛けて傾眠状態のある方であり、食後の為テーブルで待って頂いていた。テーブルにクッション等置き、いざをいう時にクッション代わりにする。
3月4日	8:05	①利用者：介護度2 女性 J2 II b ②内容：職員出社に気づき、勝手口の鍵を開けようとされる。2重ロックの為、上部に鍵には届かず。 ③再発防止策：別のご利用者様が見て鍵の理解し外に出られる可能性がある為、窓から職員の姿確認の上で、チャイムを押す。

3月4日	10:00	①利用者：介護度4 B1 III b ②内容：付き添い介助にて、歩行状態不安定なご利用者であり。椅子を背もたれを辿りながら立たれ歩かされている。歩行器を近くに置いておくとすぐに帰るとされる方の為、席に座っている間は離している。 ③再発防止策：台所から位置から見えにくい部分の為、席替えを行う。
3月5日	14:30	①利用者：介護度2 女性 A1 M ②内容：お部屋で休まれていたご利用者様が食堂のトイレに歩いて行動されていた。心臓に負担がかかる方の為、車椅子に乗って頂く。食堂に出られるまでに数回センサー作動していたが、少しでも休んで頂くように対応した為、他のご利用者様対応中や他の音が重なり聞こえにくくなっていた。 ③再発防止策：無理に休んで頂くのではなく、起きられるようであれば食堂のソファなどにご案内する。
3月10日	13:40	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：センサー作動にて、訪室する。お部屋の洗面所に立っており、うがい用コップに手指消毒をプッシュしていた。飲み物と勘違いされた可能性があり、説明し回収させて頂く。（コロナ感染者の為、手指消毒を設置していた） ③再発防止策：コロナ感染者の為、手指消毒は置いておく事が必要の為、手の届かない洗面所上に管理する。
3月24日	14:30	①利用者：介護度3 女性 A1 IV ②内容：食堂のソファにて座っていたが、急に立たれ移動される。椅子の背もたれに手をかけられた際に滑り体のバランスを崩されそうになった。すぐ駆けつけて支え転倒に至らず。 ③再発防止策：転倒リスクの高い利用者様を中心に他のご利用者様への対応が可能な場所での見守り、不穏時などの適切な声掛けにて、安全確保と転倒要因を作らない環境づくりを行う。
3月27日	16:45	①利用者：介護度3 女性 A2 III b ②内容：食堂のソファにて、傾き防止でぬいぐるみをクッション代わりにしていたが、ぬいぐるみの糸部分をかじって解こうとされていた。 ③再発防止策：認知面が高い方の為、異食の危険がある物はお渡ししない様に注意する。傾きがある方の場合には別のクッションを使用する。

4月16日	1:40	①利用者：介護度3 男性 A2 IV ②内容：物音が聞かれ訪室する。ベットの頭元ギャッチが上がっており、ベッドのリモコンを手に持っている。頭や手など柵に挟まらず、少し体の位置が下に下がっていた。頭元のギャッチを下げる。 ③再発防止策：認知面、認識が難しい方の為、コンセントを外して置く。必要時にコンセント使用する。
4月19日	8:00	①利用者：介護度2 女性 自立 II b ②内容：本人様の姿がなく、玄関に行くと玄関外に他のご利用者様連れて出ている。すぐにホームに戻って頂く。 ③再発防止策：南京錠が確実に閉めていなかった。面会などで南京錠を開け閉めでカッチと音がするまで鍵をかけていなかった為、確認を怠らない様にする。
4月29日	13:15	①利用者：介護度3 女性 A1 III b ②内容：廊下に出られる。「いつ帰るの」等帰宅願望が聞かれ、歩行器の中央に両手を置かれ、前に重心を掛けられバランスを崩されそうになった。 ③再発防止策：時折、歩行器の中央に両手を置かれる事があり。左右の握り部分を持って行動して頂く様に声を掛ける。

令和6年3月～4月

事故報告書：14件

日付	時間	内容
3月6日	2:30	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：センサー作動にて、コロナ陽性者の為、ガウンなど準備を行っている際にお部屋内で音が聞かれる。様子を見るとお部屋の洗面所前で仰向けで床に転倒されていた。すぐに駆けつけ体調、痛みを聞くと「あごが痛い」との事。あご下がやや皮下出血が見られた。夜間、経過観察に努め、皮下出血以外は特に変わりなく休まれた。 ③原因：扉を少し開けずにガウンなど準備で本人の確認を行った為。 再発防止策：5類になっているが感染症対策で必要と思い準備を優先されていた為、ご利用者様を優先だと認識を忘れない様に努める。

3月7日	0:00	①利用者：介護度3 女性 A1 IIIb ②内容：巡回時、お部屋内で物音が聞かれる。お部屋の窓側に頭を向けて転倒されていた。混乱されていた様子で「立てれん」との事。2名でゆっくりと立って頂く。後頭部が痛いとの事で確認するも外傷、腫れ等症状は見られず。夜間、経過観察に努め、特に変わりなく休まれた。 ③原因：歩行器使用者のかたであるが、帰室されるとクローゼット内にしまう為、起きられた際にバランスを崩された可能性と思われる。また、靴がホーム用になっており、慣れない為、転倒された可能性もあり。 ④再発防止策：手洗いが激しい方の為、靴が濡れている事がり。替えも持っているが間に合わない部分もあり、ホーム用の靴使用は仕方がないと思われていたが、追加の靴をご家族様と相談してみる。歩行器をクローゼット内しまう習慣の方であるが説明し、ベットに近くに置いて頂く様に声を掛け続けていく。
3月12日	15:35	①利用者：介護度3 女性 A1 IIIb ②内容：入浴後にスポーツドリンクを飲んで頂いたが、途中より喉を抑え苦しそうに顔面蒼白になっている。すぐにタッピング、屈折圧迫等を行い少量吐き出され、顔色徐々にも落ち着かれる。 ③原因：飲み物をいきよい良く飲まれた為か気管に詰まった可能性があり。 ④再発防止策：飲み物前にゆっくりと飲んで大丈夫であることを認識して頂く様に声を掛けていく。以降、咽など続く様であればトロミを検討する。
3月18日	12:40	①利用者：介護度4 女性 B2 III a ②内容：トイレに誘導する。一度立って頂くもスッキリと出ていない為、もう一度座って頂く。扉越しで経過を見ていたがトイレ内で音が聞かれ、見ると下着を下ろした状態で床に尻餅をついていた。介助するも便が見られる為、再度便座に座って頂く。排泄が済みお部屋に誘導し確認するも外傷等症状は無かった。痛みの確認は認知が強く分らず。 ③原因：認知面が高い方であるが羞恥心を行い、扉越しでの見守りをしていた為、防げなかった。 ④再発防止策：時間が掛かっても目を離さずに見守りに努める。
	22:35	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：センサー作動。ベットと洗面所の間、ズボンを下ろした状態で仰向けで床に転倒されていた。体調、痛み等確認すると「あっちこち」と言われる。全身確認するも特に異常など見当たらず。尿汚染されており、全身更衣後休んで頂く。夜間、経過観察に努め、特に変わりなく休まれた。 ③原因：眠剤の効果で足にきた可能性があり。 ④再発防止策：薬の見直しを行う。

3月23日	23:20	①利用者：介護度3 女性 A2 IIIb ②内容：巡回中、食堂より物音が聞かれ、声が聞こえる。食堂の床にて、右側臥位で転倒されている。職員2名でゆっくり立って頂き、体調、痛み等確認するも認知面が高い方の為、分からず。ソファで少し眠られる為、一時休まれた後にお部屋に誘導する。夜間、経過観察に努め、特に変わりなく休まれた。 ③原因：寝ぼけて食堂に出られた様子。その為、寝起き状態の為足に力が入らずに転倒された可能性があり。 ④再発防止策：センサー使用者の方であったが他にもセンサーが鳴り、重なり確認が取れなかった部分もある為、音の確認が出来るように位置を微調整を行う。
4月1日	1:20	①利用者：介護度3 男性 A2 IV ②内容：トイレ誘導の為、訪室すると床に下着を下した状態で、ベットよりずり落ちられた。長座位でおられ、職員2名でゆっくり立って頂く。体調、痛み等確認し、左鎖骨が痛いとの事で確認するも外傷、腫れ等の症状は無かった。ベットに上がって頂き、夜間経過観察に努め、特に変わりなく休まれた。 ③原因：靴が履いていない状態であった為、滑った可能性があり。また、下着類も下した為、足に取られて転倒された可能性もあり。 ④再発防止策：排泄時間の見直しを行う。
4月2日	21:10	①利用者：介護度3 男性 A2 IV ②内容：トイレ誘導の為、訪室すると床に両膝付いた状態で上半身はベットに上がっている状態でおられる。立ち上がり困難の為、職員2名でゆっくり立って頂く。「トイレに行こうと思って」との事で、立たれたのちトイレに誘導する。痛み外傷等確認するも特に異常見られず。排泄後、ベットに休んで頂く。夜間経過観察に努め、特に変わりなく休まれた。 ③原因：ベットよりずり落ちた可能性があり。 ④再発防止策：ベット上より徐々に体が斜めになる事が多く、体の位置を直していた。もともと体動が強い為、抱き枕を使用してみる。
4月4日	3:10	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：他の利用者様対応中、食堂にて物音聞かれる。食堂確認すると自席の後ろで尻餅がついていた。自身で立たれるが軽度のふらつきが見られる為、お部屋に誘導する。痛み外傷等確認するも特に異常見られず。夜間経過観察に努め、転倒された為なのか目が覚めた様子で以降も起きられる。歩行状態を気にしていたが特にふらつき感もなくなり、普段通りの行動を行っていた。 ③原因：転倒リスクが高い方を優先しており、対応が難しかった為、暗い中でバランスを崩された可能性があり。 ④再発防止策：落ち着きない行動をされる方の為、頓服薬を服用を検討していく。

	8:10	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：食堂の洗面所にて、湯呑を持って立っておられる。声を掛けると緑色の泡が湯呑に入っており、ゴミ箱よりペーパー等出されている。飲まれたのか不明であるが回収し、念の為水うがいをして頂く。日中、経過観察に努め、特に腹痛などの症状なく過ごされた。 ③原因：うがいをしたく、蛇口を勘違いし、ポンプ式のハンドソープを湯呑に入れたのではないかと推測される。 ④再発防止策：認知面が高い方の為、確実に見守りは難しいと思うのでハンドソープ、ゴミ箱等見えない様に置いて置く。必要時に応じて使う様にする。
4月13日	13:20	①利用者：3 女性 A1 IV ②内容：玄関にて、自動ドアより景色を見ている。不穏気味で付き添っていたが嫌がる事もあり、1m程離れた場所で見守りに努めていたが、玄関の洗面所の下で霧吹きをしゃがみ手を伸ばされ、バランスを崩され転倒される。<u>しゃがんだ為で低姿勢で転倒の為、緩和されたのか床にゴロンとした状態であった。</u>ゆっくりと立って頂き、痛みや外傷等の異常は見られず。以降も経過観察に努めるが特に変わりなく過ごされた。 ③原因：玄関先の景色に興味示された為、途中で興味が切り替わりに気づけず、反応が遅れてしまった為、間に合わずに転倒された。 ④再発防止策：不穏気味の際には対応が難しい部分はあるが出来るだけ付き添えるように介助する。
4月15日	21:00	①利用者：介護度3 男性 A1 III a ②内容：センサー作動。訪室と同時に部屋内物音聞かれる。お部屋の洗面所近くで左側臥位で転倒されていた。転倒された際に左肘に擦った傷5mm程あり。声掛けに反応あるが<u>頓服薬の効果で朦朧とされており、「このまま寝るけん」と言われる。</u>左肘カットバン処置し、職員2名での移乗介助を行い、ベットに上がって頂く。 ③原因：頓服薬の効果で朦朧してバランスを崩され転倒されたと思われる。 ④再発防止策：睡眠状態の見直し、本人様の合う睡眠導入剤を検討する。また介護拒否もあり、安定剤等も検討に含める。もともと洗面所での排泄、他の御利用者様のお部屋に入られる事、の細かいゴミを集められる方の為。
4月21日	14:40	①利用者：介護度2 男性 J2 I ②内容：センサー作動。向かう際に廊下で「おーい」と声が聞こえる。急いで訪室すると下半身はベット上で上半身が床に転落された。職員2名で体をゆっくりと起こし、外傷など確認する。痛みの確認すると「痛いところだらけだ」と言われ、日中経過を見るも特に吐き気など症状も無くお変わりなく過ごされる。 ③原因：かけ布団が本人様の床横に広がっていた為、一緒に滑り落ちた可能性があり。 ④再発防止策：ベット上休まれている際にベット中央に体を寄せて休んで頂く様に対応する。

4月22日	3:50	①利用者：介護度2 女性 自立 II b ②内容：食堂に出られ、自身の時計と食堂の時計を見比べている。途中でふらつき、職員駆け付けるが間に合わずに転倒される。痛みの確認すると「寒い寒い」との事、体温も熱く熱を測ると38.7度 有熱の為、食堂の和室で休んで頂き、薬を服用して安静に休んで頂く。 ③原因：体調不良でふらつきバランスを崩されたと思われる。 ④再発防止策：日中帯ではお変わりなく過ごされていたが、気温差がありエアコンなどの調整を行いながら体調管理に努めていく。
-------	------	--

5. 意見、質問等

■ヒヤリハットで上がっている離設される利用者様の出る理由は？

ホームより、一人暮らしでご自宅があります。ご自宅があるから帰ろうと思って行動をされます。

■離設される利用者様への外出支援について

ホームより、現状職員の人数が少なくなり、ドライブ支援が出来なくなりました。

■離設される利用者様のご家族様について

ホームより、後見人に切り替え中で、まだ甥様が身元引受人ですが本人様とお会いすると突っかかる様に興奮される為、現在は電話での対応となっております。

■離設の利用者様のホームの中での役割について

ホームより、仕事に來ている来ている気持ちでおられますが、集中が続かず、帰りたい気持ちになり止まらなくなってしまいます。心療内科の専門医に受診を行い、帰りたい気持ちは変わらずありますが、以前と比べ行動が落ち着かれつつ、表情は穏やかになってきました。ただそのきっかけか、または年齢なのか分かり兼ねませんが物忘れが多くなり認知面が進んでしまった部分もあります。その為、以前はご自宅の場所が分かっていたと思いますが、今の状態で外に出てしまうと行方不明になる可能性があると思います。

■離設の可能性について

ホームより、玄関の南京錠がついており、今の時点では安心してはいけないが離設される事はなくなりました。以前はつかえ棒等固定しておりましたが、南京錠と下の鍵のみで経過をみています。たまに下の鍵が開いているので開けようとされる行動はある様子です。

もし出られてしまうとすぐ側は道路となり、スピード出す車が多く、また難聴で收音器使用していますが聞こえにくく危ないと思っております。

■職員の退職者が多くなってきたことについて

ホームより、30～40代の方が結婚と同時に退職が多くなり、60代の職員が多くなりました。新しく職員の話もなく、派遣で外人の受け入れの話も出ましたが仕事の内容に対してのすり合わせを行いました、合わなかったようでお断りされました。

その為、少ないの人数でギリギリで仕事を行っている状態です。また辞めた方々はこちらの施設に対し、魅力を感じなく無くなった事もありますので、今後の課題と感じています。

■法人内での異動について

ホームより、応戦を依頼しておりますが、慣れている環境が良い様子でこちらへの応援はない状態です。[?]勤務調整が難しい場合は統括に来て頂き見守りをお願いしております。

ハローワーク、広告等募集をかけていますが、なかなか話がない状態です。

書式で看護の実習生の話はありますが、介護の実習生は受け入れの話がありません。

■事故報告書で上がっている利用者様の介護拒否について

ホームより、今年より入居されたばかりですが、環境に慣れてきた様子で介護拒否が徐々に見れますが、主に職員が自身の行動に対し止められると受け入れずに事故報告書に上がっている状態の介護拒否になってしまいます。

口調が荒い部分もあり、抑肝散やクエチアピン錠等薬の調整なども行っています。

■コロナ感染状況について

ホームより、3月上旬よりコロナ感染者が縁2名、結1名と2～3日後に1名感染者が出ましたが、それ以上広がることなく、職員も感染する事は無かったです。

症状も発熱が2～3日後には解熱し、隔離しておりましたが行動される事が多く心配はありましたがすぐに落ち着いたので良かったと思います。

■お出かけ支援について

ホームより、ドライブ等の支援は職員の人数が少なく、体制が出来ずにいます。今出来ていることが敷地内で畑があり、芋の苗をご利用者様と一緒に植えたことですね。

■入居者の人数について

ホームより、入居者は17名で、待機者は2名となっておりますが、職員の体制が整えていない状態の為、受け入れを保留にしています。

次回開催は令和 6年 7月に運営推進会議（第2回）予定しています。

開催日時については改めてご連絡させていただきます。